

道徳科の授業にモヤモヤを抱え、難しさを感じているあなたへ

「道徳の授業って難しい」

この本を手にとってくださった方は、きっと一度はそう考えたことがあるのではないのでしょうか。

実は、私も初任の頃は道徳科の授業が難しく、本当に毎回のようにつまんでいました（今でも昨日のように思い出せます……）。

授業前日には、不安すぎて、必ず先輩に相談をするようにしていました。時には、先輩の授業を見学させてもらうこともありました。

それから道徳科授業を学び続けて……時が流れること十数年。

今では、道徳科授業のコツをつかみ、こうして書籍を出せるまでになりました（あの頃から考えると信じられない話です！）。

道徳科の授業は、コツさえつかめば本当に楽しいもので、子どもたちが目に見えて成長していくのを実感できます。

- 「具体」で語り、「抽象」で思考ができるようになる
- 自分の本音を友達に向けて語れるようになる
- 友達の考えをじっくりと聞けるようになる
- 考えを聞いた上で比較できるようになる
- 自己と向き合う力がつく

道徳科の授業を通して、このような力が育まれていきます。

さて、先輩となった今。今度は、私がかつての先輩からのバトンを引き継ぎ、みなさんにコツを伝える番です。本書は、みなさんが抱えている悩みを取り上げて、それに回答する形式で進めていきます。

一からわかる授業づくり、子どもが生き生きとする授業の方法、盛り上がる話し合いのコツなど、さまざまなテーマを盛りだくさんでお届けします。

なお、本書はみなさんが抱える悩みをよりイメージしやすいように、教師1年目、教師2年目、そして私「森岡健太」をキャラクターとして設定し、会話をする形式で進めています。ぜひ、その会話に混ざっているつもりで読み進めてください。

本書に出てくる登場人物紹介



けんた（筆者）
【道徳教育推進教師】
道徳科の授業をするのが大好きで、よく後輩の相談に乗ってくれる頼もしい存在。



まなと
【教師1年目】
右も左もわからない1年目。まずは、基本から学びたいと日々勉強中！



みちこ
【教師2年目】
1年目で担任をもっていたが、道徳科の授業に苦戦していた。やる気は十分！

本書がみなさんの授業づくりの「お守りの存在」となり、授業のたびに先輩に相談する感覚で見返すような書籍になることを願っています。

さあ、それでは道徳科の授業お悩み相談会の幕開けです！

森岡 健太

まえがき	002
------	-----

CHAPTER
1

ここを押さえればうまくいく！ 道徳授業の基本の「き」

1 「考え、議論する道徳」は難しくない！	010
2 授業づくりのモヤモヤを解消！	012
3 授業と一緒に「悩み」「寄り添う」ことが大切	014
4 指導書をじっくりと読んでみよう	016
5 授業は「型」×「型」でできている	018
6 まずは「一人の人間」として教科書を読む	020
7 次に「教師」として教科書に向き合う	022
8 「発問」と「質問」の違いを徹底解明！	024
9 イメトレで授業のレベルアップ！	026
10 評価って、どうすればいいの？	028

COLUMN 01 ノイズを減らそう	030
--------------------	-----

CHAPTER
2

「難しい」「不安」がなくなる！ 道徳授業づくりの基本の流れ

1 教材研究ノートの書き方とは？	032
2 「学習指導要領解説」を相棒にする	034
3 授業開きでワクワク感を演出！	036
4 導入は思考の「フック」である	038
5 発問の組み立ては「易→難」を意識する	040
6 中心発問では「ズレ」が生まれるようにする	042
7 思考を揺さぶる「問い返し発問」とは？	044
8 板書の基本はどこに何を書くか	046
9 子どもの書きたいを引き出すノート指導	048
10 余韻の残る終末とは？	050

COLUMN 02 先輩の授業を見に行こう	052
-----------------------	-----

CHAPTER 3

本気・夢中がどんどん加速する！ 道徳授業の展開術

- 1 授業停滞の罠から抜け出すには？ ----- 054
- 2 心に響く範読のコツ ----- 056
- 3 話し合いの土俵に上げるために ----- 058
- 4 導入で子どもの考えを引き出すコツ ----- 060
- 5 教材を読んで感想を語り合おう！ ----- 062
- 6 教材の納得・ツッコミポイントを探そう！ ----- 064
- 7 チャレンジ！ 役割演技① ----- 066
- 8 チャレンジ！ 役割演技② ----- 068
- 9 「書く」「話す」のサイクルを生み出すには？ ----- 070
- 10 振り返りでもう一段階対話する ----- 072

COLUMN 03 時間配分を計画しよう ----- 074

CHAPTER 4

子どもも教師もどんどん夢中になる！ 道徳授業の話し合い活動

- 1 話し合いスイッチの入れ方 ----- 076
- 2 ペアトーク＆グループトークのポイント ----- 078
- 3 うろうろトークで思考＆気分転換！ ----- 080
- 4 全体交流で「お客さん」をつくらない ----- 082
- 5 立場表明をして、対話を広げていく ----- 084
- 6 つぶやきは「小さな声」「遠くの声」を拾う ----- 086
- 7 教師の役割は「つなげる」ということ ----- 088
- 8 思い込みメガネを外すには？ ----- 090
- 9 問い返し発問① 「人物の視点をずらす」 ----- 092
- 10 問い返し発問② 「時間軸の視点をずらす」 ----- 094

COLUMN 04 教材を探すアンテナを立てておく ----- 096

ポイントがリアルにつかめる！

定番教材の 道徳授業実践ガイド

1	1年生の授業実践例 「二つの ことり」	098
2	2年生の授業実践例 「七つの 星」	102
3	3年生の授業実践例 「まどガラスと魚」	106
4	4年生の授業実践例 「雨のバスでいりゅう所で」	110
5	5年生の授業実践例 「うばわれた自由」	114
6	6年生の授業実践例 「手品師」	118

COLUMN 05	教師が楽しむことが最大のコツ	122
-----------	----------------	-----

参考文献	123
あとがき	124

「考え、議論する道德」は 難しくない！



道德の授業が難しくて、悩んでいます……。
「考え、議論する道德」がいいっていうのは聞いたこと
があるんですが……。

そもそも「考え、議論する道德」っていうのは、どう
いうイメージなのかな？



う〜ん……議論だから……自分の考えをしっかりと
もった上で、主張に基づいて、意見を戦わせて……。
あれっ？ わからないなあ。

ふむふむ。どうやら「考え、議論する道德」というのを
難しく考えすぎているような気がするね。
「考え」というところは、イメージしやすいかもしれ
ないけれど、「議論する」というのは確かにイメージしに
くいよね。
どんな授業イメージをもてばいいのか、一緒に考えて
みよう！



● あえて「考えない、議論しない道德」をイメージしてみる

「考え、議論する道德」を理解するために、あえて「考えない、議論しな
い道德」についてイメージしてみましょう。

「考えない」とは、教材を表面的に捉え、決まりきった答えだけを言う授
業のことです。「議論しない」とは、心の奥底で思っていることがあっても、
それを表現しない授業のことです。

このように捉えたとき、これを裏返すと「考え、議論する道德」がどの
ような授業かが見えてきます。

「考える」というのは、「決まりきった答え」や「いい子ちゃんの答え」を出
すのではなく、自分の心の奥底に眠っている価値観に向き合うことです。
「議論する」というのは、自分の根底にある価値観をしっかりと表現し、友
達と伝え合うということになります。

つまり、誰かに決められた「正解」を探るのではなく、自分なりに納得で
きるような解を探るのが道德科の授業の本質だと言えるでしょう。かしこ
まって、堅苦しい話し合いにならないように気をつけていきたいものです。

● 「議論する」に込められた意味とは？

「議論する」という言葉を、もう少し紐解いてみましょう。

「議論する」とは、教師が特定の価値観を教え込むのではなく、子ども同
士で、価値観を語り合う中で、思考を広げたり、深めたりするプロセスで
あると捉えてください。「議論する」という言葉を難しく考えすぎずに、ク
ラスのみんなでフラットにおしゃべりするというイメージで捉えてみると
いいでしょう。

ADVICE!

つつい、授業では「正解を伝えなくては」と考えがちですが、道德科の授
業には正解がありません。肩の力を抜いて、授業を楽しみましょう。

話し合いスイッチの入れ方



いろいろと授業づくりや、授業のコツを教えてもらってきたけれど、私はもっと話し合いのコツを学びたいわ！

みちこ先生、やる気があっていいですね！
まなと先生も知りたいことがあるかな？



もちろんあります！ 話し合いなら、子どもたちの「話し合いスイッチ」の押し方を知りたいですね！

「話し合いスイッチ」の入れ方だね！
これに関しては、ちょっとしたことでずいぶん雰囲気が変わるかなって思うなあ。
例えば、机を前に向けている場合は、机をコの字型にして顔が見合える状態にするとか。
全体交流をする前に、ペアトークをしたり、意見を書く時間を設けたりして、話すハードルを下げるとか。
他には声かけ一つでも変わってくるよ。



● 声かけの工夫一つで話し合いスイッチが入る

子どもたちの中には、自信がない子がいます。道徳科は、「正解がない」と言われている分、自信がない子は自分の考えを発表することにためらいがあるでしょう。

そこで、声かけを工夫します。

ペアトークを行う際には、「思ったことを素直に話してごらん。おしゃべりタイムスタート！」と、あくまでも「おしゃべり」をしているのだという感じを強調します。

ペアトーク後の全体交流では、「何か意見がある人？」だと言い回しが硬いので、「今、ペアトークでおしゃべりしたことを教えてくれる人～？」と聞きます。その上で、「ペアトークで言ったことをそのまま言うだけだから、安心して言ってね」と伝えます。

このように「授業」という枠組みを外し、「おしゃべり」という感覚になれるような声かけをすると、子どもたちは安心して自分の考えや経験を話し始めますよ。

● 時には教師も話し合いに参加してみる

「教師」という立場からは、「授業をねらいに近づけなければいけない」という思いがあるのは当然です。ですが、時には教師も話し合いを楽しむスタンスで参加してみましょう。

「う～ん……これは、先生も悩むなあ」「その発想は先生にもなかったなあ！」と、素直に思ったことを言います。そのうちに、「先生はどう思うの？」と聞いてくる子も出てきます。

教師も話し合いに参加することで、クラスに話し合いを楽しむ雰囲気が生まれてきますよ。

ADVICE!

教師が授業を「うまく進めなくちゃ」と意識しすぎないことで、子どもたちが気軽に話し合える空気感が生まれてきます！

1年生の授業実践例 「二つのことり」

教材名 二つのことり

内容項目 友情、信頼

あらすじ やまがらの家で誕生日祝いに行くか、うぐいすの家で音楽会の練習に参加するかで迷うみそさざい。みそさざいは、やまがらからの誘いの手紙をもらっていたけれど、楽しそうなうぐいすの家に行ってしまう。でも、途中から心が揺れ動き、うぐいすの家を抜け出して、やまがらの家へ行く決断をします。

授業者のねらい 教材を通して、みそさざいの葛藤や選択について考え、「どうしたら友達と仲良くなれるか」を対話します。また、みそさざいとやまがらがお話を通してどれくらい仲良くなったかをハートメーターを活用して、思考のズレを生み出し、さらに対話を深めていきます。

授業の展開

T: みなさんは、小学生になってから半年が経ちました。たくさんお友達はできましたか？

C: はーい！ たくさんできました！

T: そのお友達とは仲良くなれたかな？

C: いっぱい遊んでいるから、仲良くなれた！

T: いいね！ 今日「友達と仲良くなるには？」について考えましょう。

〈教材範読〉(みそさざい、うぐいす、やまがらの挿絵を黒板に貼る)

T: みそさざいさんは、最初にどんなことを思っていたのかな？

C: 「どっちも楽しそう！」って思っていた。

T: そうだね。その後、うぐいすの家に行ったよね。このときはどうかな？

C: つまらないなあ。

C: なんだか悲しいなあ。

C: うぐいすのところへはいつでも行ける！

T: どういうことかな？

C: やまがらは誕生日だったから、特別な日だよ。

T: だから、やまがらは寂しかったのかな。やまがらのところへ行くときにはみそさざいはどう思っていたのかな？

C: かわいそう。

C: 誕生日は1年に1回しかないから、行こうって思った。

C: 友達になりたいなあ。

T: そういうことを思ってたんだね。では、このお話を通して、やまがらさんとみそさざいさんはどのくらい仲良くなったかな。ハートを塗ってみよう。

〈ハートが5つ書いてあるプリントを渡す。仲良くなった度合いでハートを塗り、理由が書ける場合は横に理由を書くように促す〉

T: さて、どうになりましたか？

C: 私は4つです。やまがらさんは「何できてくれなかったんだろう」って思っていて、最初は怒っている感じがしたから。

C: 私は、5つです。虹色に塗ったよ！

T: 何で、虹色にしたのかな？

C: とても仲が良さそうな感じがしたからです。

T: いいね！ 他の人はどうですか？

C: 私は7つにしました！

T: どうしてかな？

C: 5つまでは幸せ友達。そこから先は、もっと幸せ友達だから！

T: 2人で遊べて幸せだったんだね。

C: やまがらも寂しくなくなったから！

〈黒板に、子どもたちが言ってくれたハートの数だけハートを書き足す〉

T: 友達と仲良くなるには、どんなことが大切かな？

C: もっと仲良くなろうって声をかけることかな。

T: では、今日学習したことの振り返りをしてみましょう。

〈振り返りをプリントに書く〉